

令和4年度（2022年度）

事業報告書

（法人理念）

『常に障がいのある方の人権を守り、安心・充実した日々の暮らしができるよう事業運営を行います』

（法人の基本方針）

- 1 利用者が尊厳をもって暮らしていける環境を整えます
- 2 利用者やその家族と職員が強い絆で結ばれるよう努めます
- 3 地域に根ざした事業を運営し、その地域で信頼されるよう励みます
- 4 他法人とも積極的に連携し、共に学び成長できるよう図ります
- 5 福祉のこころを常に確かめ合い、専門性を有した人材を育てます
- 6 法令順守に努め、健全で質の高い経営を行います

令和5年6月22日

社会福祉法人 四幸舎和会

法人本部事業報告

【令和4年度の総括】

新型コロナウイルスの感染拡大が始まって3年目に入りました。年度当初、スタッフや地域生活を送っている利用者の感染は単発的にありましたが、クラスターまでには至りませんでした。しかしながら10月17日にくりのみ園利用者2名、スタッフ3名の感染を確認し、すぐさま施設内をゾーニングしましたが感染力が強く、感染確認から8日目がピークで、利用者19名の感染を確認するとともに、スタッフ7名が行動制限になりました。その後、あらたな感染者は出ず感染確認から15日目に収束しました。また、同時期（10月28日から）に能勢くりのみホーム（のびるホーム、なでしこホーム）でも利用者の感染が確認され、利用者8名の行動を11月7日まで制限しました。これ以降、感染予防対策に努め感染確認はありませんでした。

労務管理上に関して、6月にハラスメント事案が起こり、2度の事情聴取を行い臨時の理事会で処分を決定しました。また、ここ数年メンタル疾患で休職するもその後退職するケースが続いてきましたが、今年度も休職者3名で1名が年度内に退職しました。これらを受け、10月に法人メンタルヘルス研修（柏木 Dr 豊中市民病院）、11月に法人ハラスメント研修（淀川労務協会）を行い、今後に活かしていきます。

リスクマネジメントに関して、法人各事業所で充分意識して取り組んできましたが、5月にはくりのみ園男性利用者が外へ出ようと2階の窓から飛び降り受傷し入院する。また、12月4日の朝食時、くりのみ園男性利用者がパンを喉に詰められました。スタッフ2名が異変を確認し、すぐに応急措置を講じましたが阪大救命救急センターでお亡くなりになりました。ご家族からも事故として了解いただいたが、施設内で起こったことで動揺もあり、法人事故防止委員会を臨時で招集し、全事業所へ今回の事故に関して発信しました。また、2月14日に豊中消防の救命救急研修を受講し再発防止に努めるとともに、リスクマネジメントの意識を高めるよう努めました。

1 令和4年度 運営方針の報告

(1) 事業収支の改善を図る

急激な原油高等による物価高騰の波が年度後半から法人運営に影響を及ぼし始めたが、事業活動収支差額率が7.81%（WAM指標：平均値7.7%）で、前年（5.10%）に比べ改善するとともに、収益性の指標となるサービス活動増減差額率、前年度の0.26%から3.1%（WAM指標：平均値2.60%）へと改善した。加算等の取りこぼしをなくするとともに、かたやまの赤いやねも予定どおり運営ができたことに起因している。ただ、くりのみ園における生活介護の定員と施設入所支援の定員の乖離に伴い、大幅なマイナスの収支差額が経常されたので、次年度以降、費用按分等の見直しを行っていきます。

なお、社会福祉充実残額は昨年度に引き続きマイナス計上となり社会福祉充実計画策定の必要はありませんでした。

(2) 理事の一部改選

6月に今中理事長が逝去され、残りの任期（令和5年6月定時評議員会まで）を大崎理事が務めることが理事会で承認されました。

また、第6回定時評議員会において、理事3名（重任2名、新任1名）が選任されました。

(3) 第Ⅲ期事業計画の推進

① 能勢エリアの事業計画

4月にくりのみ園の従たる事業所から、生活介護事業所かたやまの赤いやねを予定どおり開設しました。

② 池田・豊中エリアの検討

令和5年6月1日開設予定のロジエはちづか（池田市鉢塚）の工事が12月から開始されました。定員7名のうち2名の利用者は、セブン＆チェリーから地域生活へ移行することで調整しました。また、サテライト希望の利用者1名と残り3名の新たなホーム物件を池田市内で検討中の状況です。

③ 人材確保・育成・定着を図る

コロナ禍の中、学卒採用員会を中心に学生の採用を進めて参りました。感染状況によってオンラインや対面での説明会や見学会を実施し、1名の学生から内定承諾を受けました。また、中途採用では求人媒体を活用し、1名の中途採用、またアシスタントからの登用を含め計3名の正規スタッフ採用という結果になりました。

（表－1）

	令和4年度	令和3年度	令和2年度	31年度数
キャリア合同説明会接触者数				28名
FACE to FUKUSHI インターンシップフェア	34名	35名	14名	26名
FACE to FUKUSHI 就職フェア 接触数	25名	37名	43名	31名
採用応募者数	3名	6名	7名	5名
内定承諾者数	1名	4名	5名	3名
入職予定者数	1名	3名	5名	1名

(5) 社会・地域貢献に積極的に取り組む

独居高齢者へ向けた社会福祉協議会の配食サービスをくりのみ園（毎週月曜日）、おおざとの赤いやね（隔週火曜日）が継続して受け持ちました。

能勢町から委託を受けている地域のCSWの活動も田尻地区と久佐々地区を担当し地域のニーズに応え、そこから生活困窮レスキュー事業へ繋がりました（6件の相談に対し、5件はレスキュー事業で支援）。

また、能勢町の居場所づくり事業は、コロナ禍のため利用者はありませんでした。

(表一2)

生活困窮レスキュー事業（大阪しあわせネットワーク）の対応実績			
①	9月	女性（72歳）	生活保護受給までの間、現物支給が必要との相談を受ける。最終的に支援せず。
②	12月	60歳代夫婦	親が利用した介護施設での請求が高額で家計逼迫。水道代14か月分を支援。
③	1月	男性（66歳）	電気代が支払えず、差し止め寸前。電気代を支援する。
④	2月	女性（43歳）	自動車税の支払いが2か月滞っており、差し押さえ寸前。自動車税を支援する。
⑤	〃	60歳代女性	多重のカード払いで困窮。車のタイヤ交換にかかる費用を支援する。
⑥	〃	女性（21歳）	電気代、水道代、携帯料金が支払えず差し止め寸前。それらの費用を支援する。

(6) リスクマネジメントを強化する

各事業所においてリスクマネジメントの徹底を図っていましたが、記述のとおり12月4日のくりのみ園朝食支援時にパンを喉に詰められ、日深夜、くりのみ園において利用者同士の傷害事故がありました。法事故防止委員会を緊急招集して、事故の検証と再発防止策を検討し情報を発信しました。

過去の事故検証委員会の提言の一つであった、「家族が安心できるよう関係を深める」に沿って、10月22日に家族協同研修会を昨年度に引き続き開催（対面式）しました。

2 職員動静について

4月1日に法人採用（新卒者3名）し期首職員数（正規職員）は、前年度同様の43名で年度内に2名が退職（自己都合による者2名）し離職率は4.6%となりました。過去5年間の離職率の推移は、（表一3）のとおりです。（表一3）

年度	期首職員数	退職者数	離職率
H30	33人	0人	0.0%
R元	35人	2人	5.7%
R2	36人	1人	2.7%
R3	43人	3人	6.9%
R4	43人	2人	4.6%

*参考(令和3年度介護労働実態調査：介護職離職率 14.3%)

3 理事会・評議員会の開催について

第5回定時評議員会を6月に開催し、定款変更に伴う書面評議員会も行いました。また、理事会は書面理事会を含み5回開催しました。議案の内容は（表一4）、（表一5）のとおりです。

【評議員会】

(表—4)

会 議 名	日 時	議 案 等 の 内 容
第6回 定時評議委員会	令和4年 6月23日(木)	第1号議案「令和3年度事業報告書(案)の承認」について 第2号議案「令和3年度決算報告書(案)の承認」について 令和3年度社会福祉充実残額の承認 ・監事監査報告(令和4年5月19日) 第3号議案「改選理事の選任」について その他 ・倉垣ホーム建設に向けて ・くりのみ園利用者Hさんの現状報告

【理事会】

(表—5)

	会 議 名	日 時	議 案 等 の 内 容
第1回	理 事 会	令和4年 6月8日(水)	第1号議案「今中理事長逝去に伴う改選に関する件」について
第2回	理 事 会	令和4年 6月8日(水)	第1号議案「令和3年度事業報告書(案)」について 第2号議案「令和3年度決算報告書(案)」について 令和3年度社会福祉充実残額の報告 監事監査報告(令和4年5月18日) 第3号議案「理事の選定」について 第4号議案「経理規程の一部変更」について 第5号議案「第6回定時評議委員会の議案及び開催日程等の承認」について その他 ・能勢倉垣ホーム建設に向けて ・くりのみ園利用者Hさんの現状報告について
第3回	理 事 会	令和4年 6月30日(水)	第1号議案「ハラスメント事案の事実認定及び今後の対応」について
第4回	(書面) 理 事 会		第1号議案「積立金口座の金融機関変更」について 第2号議案「第三者委員の選考・任命」について

第5回	理事会	令和5年 2月9日（木）	第1号議案「令和4年度補正予算（案）」について 第2号議案「賃金規程の一部改正（案）」について 第3号議案「役員等賠償責任保険契約締結」について 第4号議案「GH一括借り上げ（池田市鉢塚）の進捗状況等」について 第5号議案「喉詰め死亡事故の顛末等」について その他 ・10月のコロナクラスター対応について ・ハラスメント対応等の顛末について ・くりのみ園利用者Hさんの現状報告等について ・亡き今中理事に代わる新理事候補について ・今後の理事会等の日程調整について
第6回	理事会	令和5年 3月23日（木）	第1号議案「令和5年度事業計画書（案）」について 第2号議案「令和5年度当初予算（案）」について 第3号議案「くりのみ園その他の費用一部改正（案）」について 第4号議案「積立金の取り崩し」について その他 ・ロジェはちづかの進捗状況について ・屋上防水工事について ・くりのみ園利用者Hさんの現状報告等について ・法人スタッフの状況（新規採用含む）について ・今後の理事会等の日程確認について

4 法人委員会の取組

各委員会の取組み及び実践報告会の内容は、（表－6）、（表－7）のとおりです。

（表－6）

法人研修委員会	（開 催） 毎月1回	目的「法人事業所・スタッフのスキルアップを統括する」 コンサルテーションの進捗管理。公開講座、実践報告会の企画・運営した。新人研修、基礎研修など法人研修プログラムを作成した。また、メンタルヘルス及びハラスメント研修を行った。
事故防止委員会	（開 催） 7月、11月、 12月（臨時） 2月	目的「各事業所の安心・安全な運営をめざす」 各事業所の事故、ヒヤリハットを検証しフィードバックを行った。 事故防止に係る法人研修を企画した。 12月にくりのみ園で発生した喉詰め事故について緊急開催（2/28）事故検証を行うとともに、各事業所へフィードバックを行った。

虐待防止・身体拘束適正化委員会	(開催) 5月、8月 12月	目的「利用者の人権を守り、虐待や不適切な支援を起こさない組織や事業所をめざす」、「不適切な身体拘束がないがチェックしていく」 スタッフ自己評価による不適切な支援(グレーゾーン)への意識向上を図った。 身体拘束に関して議論を深め各事業所へフィードバックを行うとともに、マニュアル作成をフィードバックした。
非常対策委員会	7月、10月 1月	目的「防災等に備え事業継続できる体制を構築する」 BCP(事業継続計画)の改訂を行った。コロナ禍における、今後の感染予防対策等について協議した。安否確認運用及び訓練(8月、3月)を行った。
学卒採用委員会	7月、8月 10月、11月 12月、1月、 2月、3月	目的「新規学卒者の人材確保に努める」 F2F 福祉フェア等へ参加し法人説明会へ誘導した。大学訪問(桃山学院大学、仏教大学、大阪人間科学大学、関西福祉大学)を行った。内定者のフォローアップ(研修会、座談会、内定式)を行った。

(表一七)

第9回社会福祉法人 四幸舎和会 実践報告会 と き：令和4年11月19日(土) ところ：能勢町社会福祉協議会
報告1『福祉相談 With の支援—アセスメントを大事に—』 発題者：濱(福祉相談 With)
報告2『新しい活動への取り組み』 発題者：芦田、山形(セブン&チェリー作業所)
報告3『再構造化の重要性—より豊かな生活を目指して—』 発題者：高田、豊川(おおざとのの赤いやね)